

不動産会社に相談する前に整理しておきたい10のポイント

① 相続登記や名義変更は済んでいるか？

→ 不動産の名義が誰になっているかを確認しましょう。まだの場合は、登記の進め方を含めた相談が必要です。

② 共有名義人は誰か？ 意思のすり合わせはできているか？

→ 他の相続人との話し合いができていないと、スムーズに進められません。

③ 実家の現況（空き家・居住中・賃貸中）を把握しているか？

→ 現在の状態によって、できる提案や流れが変わります。

④ 建物の築年数・構造・修繕歴などを把握しているか？

→ 査定額や売却方法の判断に影響するため、できる範囲でメモしておきましょう。

⑤ 固定資産税や維持費がどれくらいかかっているか？

→ 売却か保有かを判断する上での「経済的負担」の把握に重要です。

⑥ 周囲の不動産相場を大まかに調べたことがあるか？

→ ざっくりでも相場を把握しておくで、査定額の判断材料になります。

⑦ 自分たちが「売る・貸す・残す」のどの方向で迷っているか？

→ 決まっていなくても大丈夫。「悩んでいる理由」を言語化できると、相談が有意義になります。

⑧ 管理上の問題（草木の繁茂・近所の視線・老朽化など）を感じているか？

→ 現場を見ずに判断されるのを防ぐため、気になる点は伝えられるように。

⑨ 相談したいことや不安に思っていることをメモしてあるか？

→ 聞き忘れや後悔を防ぎ、納得感のあるやりとりができます。

⑩ 複数の不動産会社から話を聞く意向があるか？

→ 1社だけでなく、比較検討する姿勢を持つことで冷静な判断がしやすくなります。

※専門知識がなくても安心。メルマガでは、不動産や相続のことをていねいにわかりやすくお伝えしています。